

白馬村無電柱化推進計画（案）についての意見募集（パブリックコメント）結果

1. 意見募集対象

白馬村無電柱化推進計画（案）

2. 意見募集期間

平成 30 年 11 月 15 日午前 9 時から平成 30 年 12 月 15 日午後 5 時まで

3. 意見の募集方法

電子メール、郵送、FAX、持参

4. 受付意見数

1 名（4 件）

5. 意見・提案と村の考え方

別紙のとおりご意見に対する村の考え方をお知らせします。ご意見ありがとうございました。

No.	ご意見・ご提案の概要	村の考え方・回答	計画案の修正の有無
1	計画の目的について、景観と防災力に重視した視点は全体構成として問題はないと思います。しいて言えば住民の安全という視点を書き加えてほしい、小学生たちは電柱があるために白線を超えて車線にはみ出すことをしばしば目するために。まずは無電柱化の視点として住民のためを明確にすべきであると考えます。	計画の目的は、公共の福祉向上が大前提となっております。 計画策定の背景に、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等という文言が含まれているため、原案のとおりとしたいと考えます。	無
2	計画期間について、10年として明示するのはいいが、硬直的であり社会情勢や国、県の動向を踏まえ「適宜見直しをする」とすべきであると思います。とりわけ計画では総距離数が明示されておらず、1kmあたり2億円といわれる費用面と補助金、物価との関係等との関係を考えると財源との関係を考慮するに期限を区切るのはある意味無責任であり不誠実であると思います。	計画期間は基本的に10年間としますが、社会情勢や国、県の動向に変化ある場合は、白馬村無電柱化推進連絡会に諮り、適宜見直しを図る旨を「2（4）計画の期間に」に追記しました。	有

3	<p>対象道路について、まず景観と防災力と安全という視点での優先すべき路線選定、地域選定の考え方を明らかにすべきである。さらに景観についても景観に応じた評価、つまり現況の景観評価と無電柱の景観向上の効果の視点を明らかにすべきであると考えます。</p> <p>その上で防災的視点、景観的、事業実施難易度、行政的判断等に基づき順に決定すべきだと考えますのでこれらを明らかにすべき事項が明確でないと思います。そういう意味で駅周辺の道路の最優先に位置付けるべきとの考えは地域らしい建築物等との関係性から判断するに道路空間創出における無電柱化の効果が想像できないと考えられるためにどちらかといえば主観的であり、客観性という意味で行政の視点が欠けていると思います。</p>	<p>計画路線、計画区間、景観保全区間の選定は、庁内でも様々な意見がありましたが、客観性の視点を担保するため、庁内の課長会議、外部の白馬駅前周辺整備検討会、白馬村無電柱化推進連絡会、景観ワークショップの議論を加味して、決定した経過があります。</p>	無
4	<p>財源計画について、無電柱化の距離数から総額的な予算を明らかにすべきと思うとともに国・県の補助金等を一定程度計上すべきであると思います。さらに観光振興のための財源は現時点では不明確であり、しかも費用のなかで占める割合が大きいことから一旦これらの数値は除外すべきであると考えます。そういった意味で優先順位も含め、クラウドファンディング等を活用し、予算等を明示し、その世界的景観をどう客観的にみられているのかをみるのも必要かと思えます。</p>	<p>無電柱化は莫大な費用が掛かることは周知の事実であり、これに村の財源を全て充当する困難であるため、現時点である程度の今後の財源計画が必要となります。ご指摘のガバメントクラウドファンディングはふるさと納税の一手段になりますので、有効に活用したいと考えます。なお、新たな観光財源については、不明確ではありますが、他計画に於いて観光力向上の用途として謳われていますので、このままでとさせていただきます。</p>	無